

# メタルキャタライザーキット

## 取付説明書



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.  
HKS Company Limited.

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行ってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一、お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別メタルキャタライザーキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No.	33005-AH006
取付説明書 品番	E65460-H22010-00
メ ー カ ー 車 種	ホンダ CIVIC TYPE R 6BA-FL5
エ ン ジ ン 型 式	K20C
年 式	2022年9月~
備 考	

( 上記の適合情報は、2025年12月現在の情報です。  
最新の車両適合に関しましては、弊社ホームページをご確認ください。  
[https://www.hks-power.co.jp/product\\_search/product/9](https://www.hks-power.co.jp/product_search/product/9) )



### 改訂の記録

改 訂 No.	日 付	備考
3-3. 01	2025/12	初版

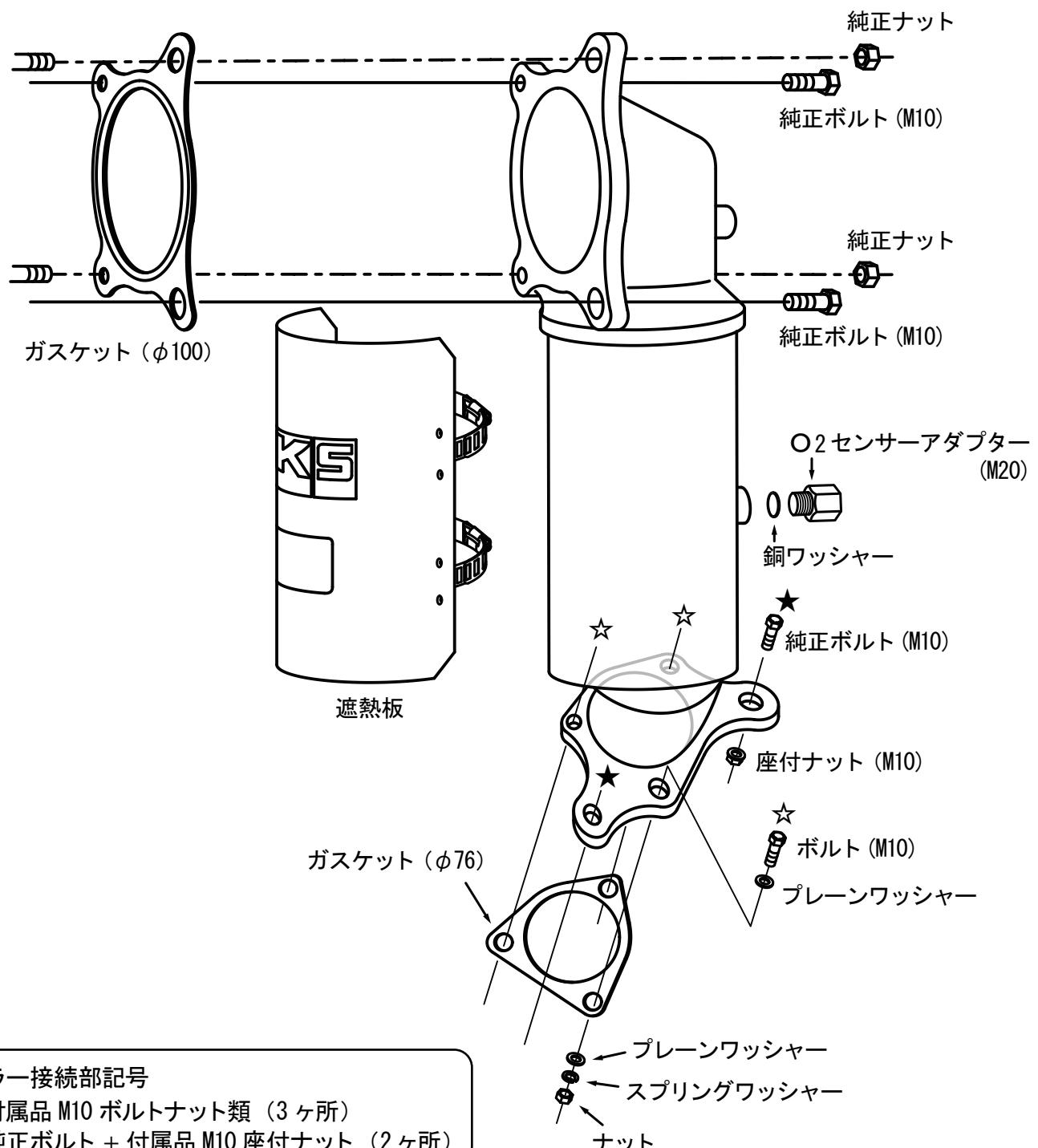
# HKS METAL CATALYZER

## パーツリスト

連番	品名	数量	備考
1	キャタライザー	1	
2	遮熱板	1	
3	ホースバンド	2	
4	ガスケット(Φ100)	1	
5	ガスケット(Φ76)	1	
6	O2センサーアダプター	1	
7	銅ワッシャー	1	
8	座付ナット	2	
9	ボルト(M10)	3	
10	プレーンワッシャー	6	
11	スプリングワッシャー	3	
12	ナット(M10)	3	
13	取付説明書・取扱説明書	1	本書
14	試験成績表	1	
15	保証書	1	

●パーツリスト内の部品を別途購入する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 製品組付図



# HKS METAL CATALYZER

## A/F・O<sub>2</sub>センサーの取外し・取付けについて

### △注意

- 本製品の取付後にエンジンチェックランプ「A/F・O<sub>2</sub>センサー異常」が点灯する場合は、A/F・O<sub>2</sub>センサーまたはセンサーハーネスの破損、接触不良などが起きているおそれがあります。  
A/F・O<sub>2</sub>センサーおよびセンサーハーネスを点検し、破損している場合は修理・交換をしてください。

### □センサー不具合発生理由

- ・センサー断線
- ・センサーコネクタ接触不良
- ・センサーヒーター部異常
- ・車両側ハーネス断線および接触不良

### △注意

- A/F・O<sub>2</sub>センサーを脱着する際、センサー及びセンサーハーネスを破損させないよう、必ず下記の事項を守って作業を行ってください。

- ・センサーコネクタを取り外してからセンサーを取り外す。  
センサーコネクタを付けたままセンサーを外すとハーネスがねじれて断線することがあります。
- ・取外したセンサー部に油分・汚れを付着させない。  
油分や汚れが付着したまま使用するとセンサーが機能しない場合があります。
- ・センサー異常によりセンサーの交換をおこなった場合は、コンピュータ（ECU）をリセットしてください。  
センサーを交換しただけでは、ECUにエラー記録が残っていて、「エラー表示」される場合があります。

## 1. 純正部品の取外し

純正部品の取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行ってください。

- (1) A/Fセンサー、ターボ側純正遮熱板を取り外してください。
- (2) 純正触媒、O<sub>2</sub>センサーを取り外してください。

### アドバイス

- センサーの取外しは、センサーハーネスを損傷しないように気をつけてください。
- 純正触媒に取付けられている純正遮熱板は使用しませんので純正触媒と一緒に保管してください。
- ガスケットはキット内の新品を使用してください。
- A/Fセンサー、O<sub>2</sub>センサーは再使用します。

## 2. HKSキャタライザーの取付け

純正部品の取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行ってください。

(1) HKSキャタライザーへ付属されている遮熱板を取付けます。

図1の①～③のクリアランスを参考に遮熱板を取付けします。

### △注意

●HKSキャタライザーにバンテージを巻いて使用しないでください。  
キャタライザーの温度が上り過ぎてしまい、本製品の故障につながる場合があります。

図1 遮熱板取付図

※撮影のため青色の保護フィルムは剥がしております。



HKSキャタライザー×1 HKS遮熱板×1 ホースバンド×2

締付トルク N·m(kgf·m)

ホースバンド

4.0 N·m (0.4 kgf·m)

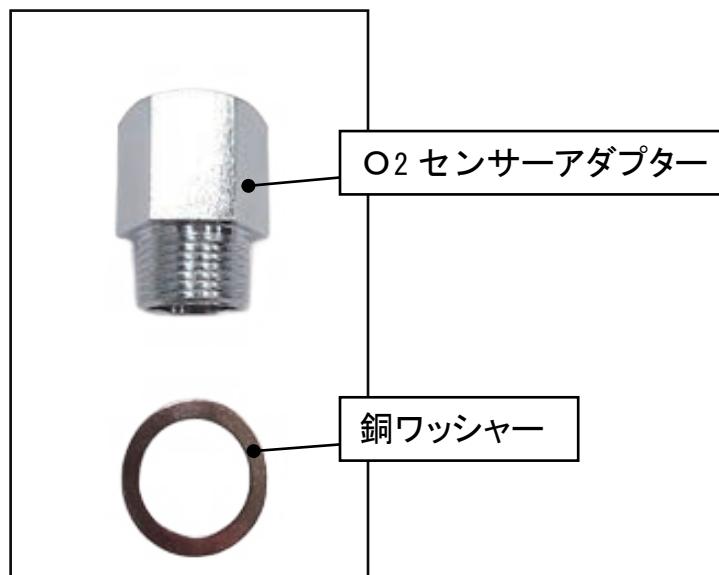
# HKS METAL CATALYZER

(2) 付属されているO2センサーダプターと銅ワッシャーを取付けてください。 (図2)

## △注意

●以降高温部となる場所のボルトナット取付けには焼き付き防止剤を使用してください。塗布せずに取付けた場合、ボルトナットが固着してしまい取り外しの際にかじってしまう(焼き付き)場合があります。

図2 構成部品図



締付トルク N·m(kgf·m)

O2センサーダプター

60.0 N·m ( 6.12 kgf·m)

(3) 取付けたO2センサーダプターへ純正O2センサーを取付けてください。

締付トルク N·m(kgf·m)

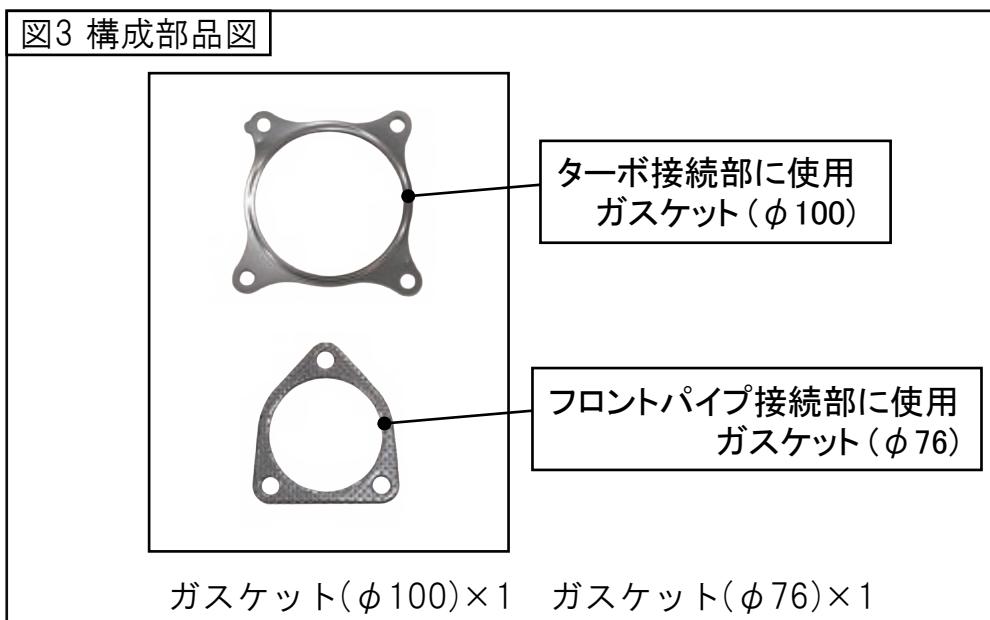
純正O2センサー

45.0 N·m ( 4.59 kgf·m)

(4) HKSキャタライザーを車両へ取付けます。

純正取付け手順と同様にHKSキャタライザーを取付けてください。

ターボとの接続部には付属されているガスケットを使用してください。(図3)



純正ターボチャージャー接続部

締付トルク N·m(kgf·m)

純正M10ボルト×2

45.0 N·m ( 4.59 kgf·m)

純正M10ナット×2

45.0 N·m ( 4.59 kgf·m)

HKSキャタライザーと純正ブラケットの固定には純正ボルト×4と付属の座付ナット(M10-1.25×2)を使用し指定のトルクで取付けてください。(図4)

締付トルク N·m(kgf·m)

純正M10ボルト×4

45.0 N·m ( 4.59 kgf·m)

# HKS METAL CATALYZER

(5) HKSキャタライザーを取り付けた後、マフラーと接続します。  
マフラーとの接続部には付属品のガスケット(図3)を使用してください。

## ⚠ 注意

●HKSキャタライザーとの接続部に使用するガスケットは付属品をご使用ください。それ以外のガスケットを使用した場合、シール面が確保できず排気漏れや思わぬ事故に繋がる可能性がありますのでおやめください。

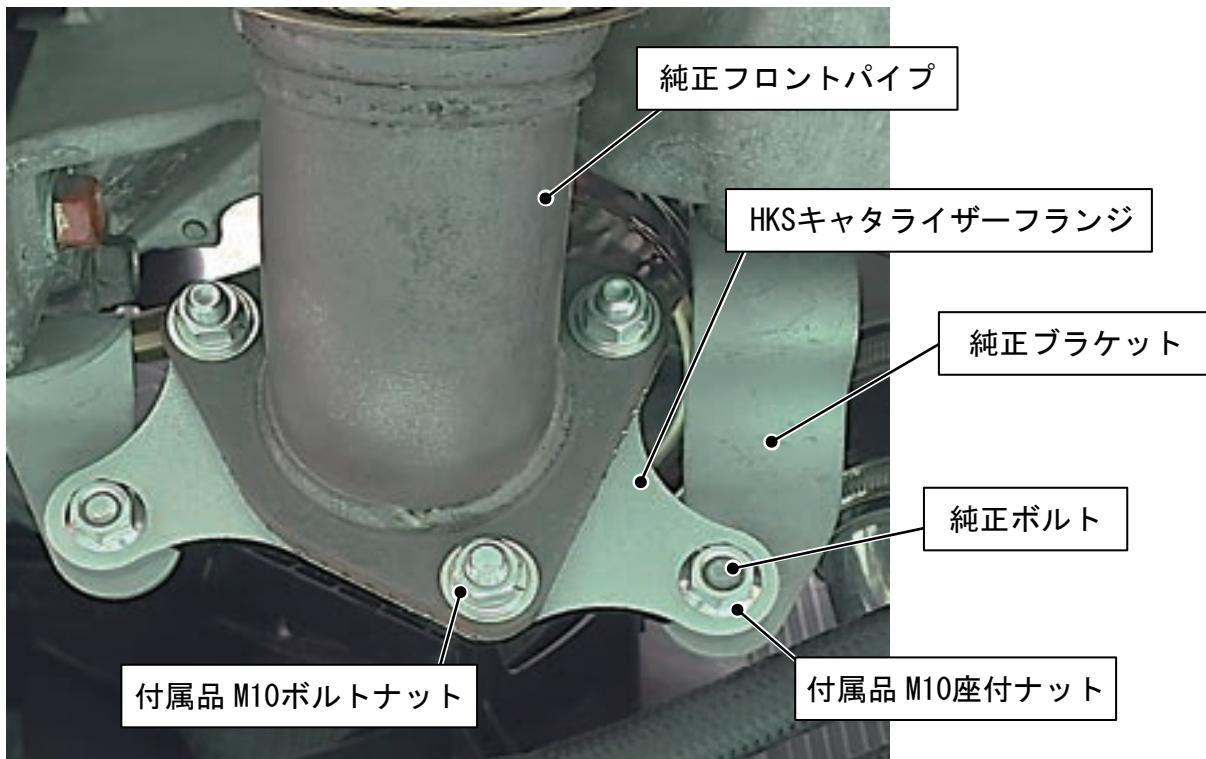
マフラーとの固定には付属品のボルトナット、ワッシャー類を使用し指定のトルクで取付けてください。(図4、P2. 製品組付図参照)

締付トルク N·m(kgf·m)

付属品 M10ボルトナット

31.5 N·m ( 3.21 kgf·m)

図4 マフラー接続部 取付図



付属品 M10ボルトナット × 3set (M10ボルト×3、ワッシャー×6、スプリングワッシャー×3 M10ナット×3)  
座付ナット × 2

## ⚠ 注意

●HKSキャタライザーと取付後、保護シールの剥がし忘れ、ノリや油等が付着していないか確認し、付着していた場合は清掃を行ってください。

(6) ターボ側純正遮熱板を戻し、純正A/Fセンサーを取付けます。

締付トルク N·m(kgf·m)

純正M8ボルト × 3

22.0 N·m ( 2.24 kgf·m)

純正A/Fセンサー

45.0 N·m ( 4.59 kgf·m)

(7) その他純正部品の取付作業を行ってください。

### 3. 取付け状態の確認

- (1) 取付け作業終了後、各部に干渉が無いことを確認してください。
  - (2) エンジンを始動し、約2500回転で回して排気漏れや異常音を点検してください。
  - (3) 試運転により、再度排気漏れや異常音を点検してください。
- ※取付作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行ってください。

### 4. 取付け後の確認

- (1) 本製品を装着すると過給圧特性の変化が考えられます。過給圧を変更している場合はノッキングの有無や、最大過給圧の確認を行ってください。必要であれば再セッティングを行ってください。



- 車両による個体差や、併用する部品により性能変化には差が生じます。  
同様にノッキング等の発生も一様ではない為、製品装着時には十分注意し  
問題が確認された場合は、セッティング状態と併用部品を検討してください。



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181

<https://www.hks-power.co.jp/>

# メタルキヤタライザーキット

## 取扱説明書



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.  
HKS Company Limited.

**取付けは必ず専門業者にご依頼ください。**

取扱説明書を先に読んでから作業を行ってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

### 目次

ページ

はじめに	1
製品についてのご説明	1
安全上の注意	2
取付方法	3
取付けを行う前に	3
取付後の確認	3
維持・管理	4
異常・故障等の対応	4
アフターサービスについて	4
譲渡等の際の注意	5
排ガス試験証明について	5

## はじめに

この度は、HKS製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書をよく読み、理解したうえで取付けを依頼してください。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全にご使用ください。

本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解したうえで作業を行ってください。

純正品の取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行ってください。

整備書がお手元に無い場合は、新たに購入してください。

## 製品についてのご説明

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品を装着している車両への取付けを基準に製作されています。上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- ジムカーナやサーキット走行等の特殊な用途のご使用では製品の耐用期間が著しく低下いたしますのであらかじめご了承願います。
- 本製品にサーモバンテージ等の断熱材を巻いて使用すると、高温にさらされ破損しやすくなります。  
断熱材を巻いて使用した破損につきましては、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。  
This Product is designed for use in Japan only.  
It must not be used in any other country.
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 消耗部品や紛失部品および本書のご注文は、お買上げの販売店にお問い合わせください。  
部品を発注する際は、商品名・コードNo.・エンジン型式を注文先にお伝えください。  
コードNo.は本書のパーツリストに記載されています。
- 取付け終了後、“本書”アフターサービスについて”に記載されている取付け業者名記入欄に必要事項を必ず記入してください。
- 本製品はノーマル車両に装着した際、道路運送車両法の保安基準第31条「ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置」の基準に適合するものです。
- 車両によっては、本製品に交換する事で近接排気騒音が増加し、道路運送車両法の保安基準第30条「騒音防止装置」の基準に適合しない場合があります。

## 安全上の注意

本書では下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



- この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。



- この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある場合、または物的損害の発生する可能性がある場合。

本製品を正しくお取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。



- 爆発及び火災防止のために、次のことを守ってください。
  - ・換気のよい場所で作業してください。
  - ・可燃物を取扱う際は、火気に十分注意してください。
- 電気ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止するために、次のことを守ってください。
  - ・コネクタを取り外す時は、断線しないようにコネクタを持って取外してください。
- 車両をジャッキアップする場合には輪止めをかけ、ジャッキは必ず所定の位置に当てるください。又、そのまま作業せずリジッドラックで支えてから作業を行ってください。
  - ・所定外の位置でのジャッキアップはバランスが悪いばかりでなく車両を傷つける恐れがあります。
  - ・リジッドラックを確実にかけないと車両が落ちて怪我をしたり最悪の場合死亡する恐れがあります。



- 本製品の誤使用は絶対に行わないでください。
  - ・誤使用したことにより異物がキット内に入り、最悪の場合エンジンが壊れる恐れがあります。本来の性能を損なう恐れがあります。
- 作業を始める前にキャタライザーの温度が約40°C位（手で触れて熱くない程度）に下がっていることを確認してください。
  - ・火傷をする恐れがあります。

## 取付方法

- 製品の構成部品をパーティリストに記載しております。取付け前に異品・欠品のないことを確認してください。
- 純正品の取付け・取外し作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでから行ってください。整備要領書がお手元にない場合は、メーカーにお問い合わせください。
- 本製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり、強いショックを与えないでください。
- ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。必要以上に締付けを行うと、ボルト類のねじ部が破損します。
- 取付け作業のため一時的に取外す純正品は破損又は紛失しないように保管してください。又、純正品を取付ける際間違えて取付けないように、取外す純正品にはマーキングをしてください。

## 取付けを行う前に

- ★純正品の取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と取付説明書を併用して作業を行ってください。

## 取付け後の確認

始動直後は回転を上げないようにしてください。(アイドリング運転)

	始動前	始動後	停止後	走行後
ボルト・ナット類が確実に締まっているか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
取付けた部品がしっかりと固定されているか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
軽く空吹かしを2、3度行ない排気ガスが漏れていないか		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>



- 仕様により燃調セッティングが必要な車両の場合、セッティング中の失火やレブリミッターにあてる等して、排気温度の過度の上昇が繰りかえされると、キャタライザーが破損する恐れがあります。その場合、クレーム対象外となります。  
また、純正以外のＥＣＵを使用しないでください。純正以外のＥＣＵを使用した場合、クレーム対象外となります。

- ★各部確認終了後、バンパ及びアンダーカバーを取外して作業した場合は、元通りに取付けてください。

## 維持・管理

快適に運転していただくために、自動車を運行する前には必ず日常点検を行ってください。

- 日常点検は自動車の使用者または運行する者の責任です。必ず実施してください。
- 本書に記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。
- プラグは走行状況に応じて変更してください。
- オイルは定期的に交換してください。オイルを交換する際には、HKS指定オイルをご使用ください。

交換目安：3,000～5,000km毎 又は、3～6ヶ月毎に交換してください。

## 異常・故障等の対応



- 走行中、音等の異常を感じた場合は直ちに走行を中止し、原因を確認してください。キャタライザーの脱落が生じている場合には、エンジンを再始動しないでください。
  - ・専門業者に状況を告げ、修理を依頼してください。
  - ・その場で安全な修復が出来ない場合は、応急処置の方法を聞いて対応してください。作業はキャタライザーが十分冷えた状態で行ってください。
  - ・必ず専門業者の指示に従ってください。  
最悪の場合、キャタライザー脱落による事故が起きる恐れがあります。

- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音・異臭・振動等の異変があった場合には本書に従って対処してください。

## アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせは、専門業者又はお買上げの販売店にご相談ください。

取付け業者名	
電話番号	
担当者名	
お客様氏名	

## 譲渡等の際の注意

本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのために本書を一緒に渡してください。  
本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。

## 排ガス試験証明について

●本製品には道路運送車両法 保安基準第31条に基づく排ガス試験証明書の写しが同梱されています。継続車検時等において、成績書の掲示が求められる事がありますので、常時車両内に保管してください。

※「排ガス試験証明書」は車検合格を保証するものではありません。

●一部車種において排ガス試験証明書の写しに車台番号を記入する欄があります。  
その場合、本製品購入後、使用する車両の車台番号を記入して保管してください。









株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192 静岡県富士宮市北山 7181

<https://www.hks-power.co.jp/>